

—より強く、よりしなやかに—
ファイン・ヒート・テクノロジー

 **ネツレン**
NETUREN 高周波熱錬株式会社

第**112**期 ネットンレポート

NETUREN REPORT

2022年4月1日から2023年3月31日まで

証券コード 5976



ご挨拶



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

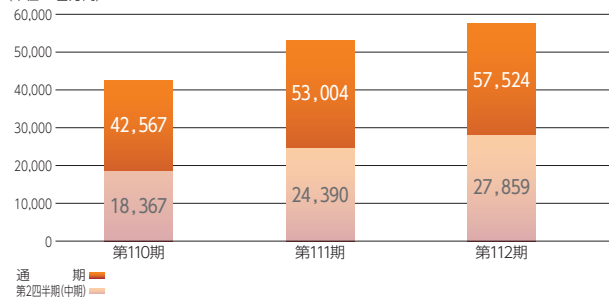
ここに、第112期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の当社グループの事業概況と国内外における成長戦略などの企業価値向上に向けた取り組みについてご報告させていただきますので、ご高覧賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長執行役員 大宮克己

連結決算ハイライト

売上高

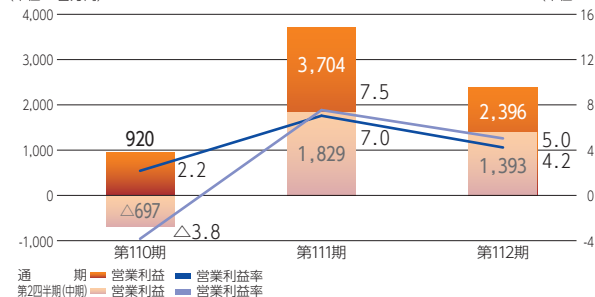
(単位：百万円)



営業利益／営業利益率

(単位：百万円)

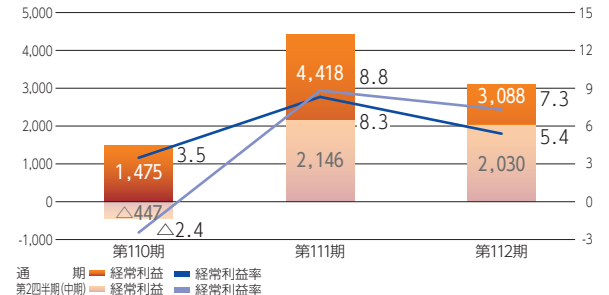
(単位：%)



経常利益／経常利益率

(単位：百万円)

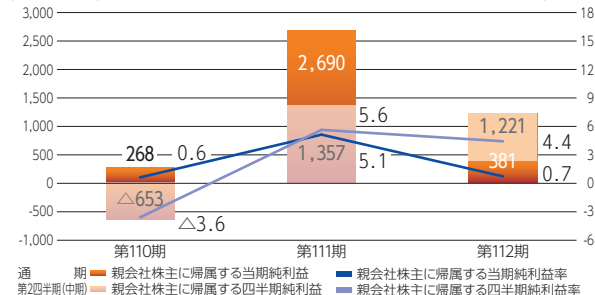
(単位：%)



親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益／親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益率

(単位：百万円)

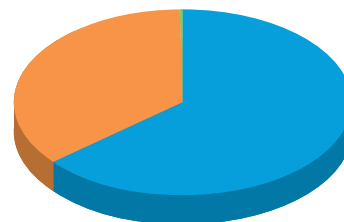
(単位：%)



セグメント別営業の概況

セグメント別売上高構成比

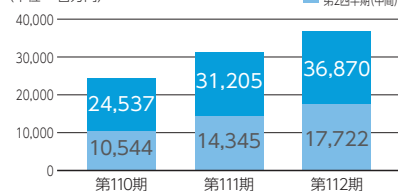
- 製品事業部関連事業 36,870百万円 (64.1%)
- IH事業部関連事業 20,514百万円 (35.7%)
- その他..... 139百万円 (0.2%)



製品事業部関連事業

売上高の推移

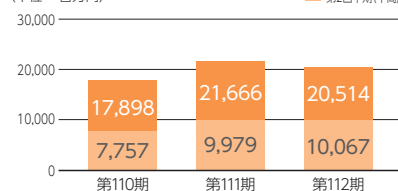
(単位：百万円)



IH事業部関連事業

売上高の推移

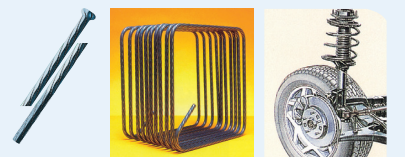
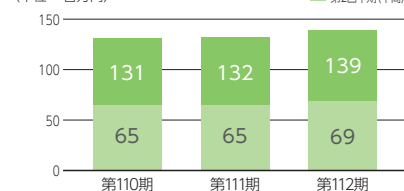
(単位：百万円)



その他

売上高の推移

(単位：百万円)



PC鋼棒

高強度
せん断補強筋

サスペンション用ばね
の使用例

PC鋼棒関連製品

高周波熱処理を応用したプレストレストコンクリート用部材である高強度、高品質のPC鋼棒および関連製品の製造・販売を行っております。

ばね鋼線関連製品

高周波熱処理された冷間成形用の高強度ばね鋼線 (ITW[®]) の製造・販売を行っております。

自動車部品関連製品

中空ラックバー等の自動車部品の製造・販売を行っております。

建設機械関連製品

建設機械用旋回輪の製造・販売を行っております。



自動車部品の
高周波焼入れ

コンパクト
CVJ焼入機

熱処理受託加工関連

高周波熱処理を中心にあらゆる機械部品の熱処理受託加工を行っております。

誘導加熱装置関連

誘導加熱・熱処理装置、周波数変換装置等の設計・製作・販売・エンジニアリングを行っております。



オーバルコート大崎
マークウエスト

賃貸事業

「オーバルコート大崎マークウエスト」に当社が所有するフロアおよび当社が行う事業に関連する設備等の賃貸事業であります。

その他

上記以外の事業であります。

ホームページのご案内

詳細は、下記WEBサイトまたは右のQRコードからご覧いただけます。

<https://www.k-neturen.co.jp/ja/ir/library/earnings.html>



キャピタルアロケーション

当社は、第15次中期経営計画における「キャピタルアロケーション」を2022年5月に公表し、2023年5月にその進捗状況を報告いたしました。本計画は基本として、経営環境および財務状況の変化に対応した柔軟な資本政策を遂行するとともに、資本効率の向上および株主還元のためのさらなる拡充に努めてまいりました。

引き続き、本計画に従い今後の成長に向けた戦略投資を積極的に実施するとともに、目指すべきバランスシート、ROE8%およびPBR(株価純資産倍率) 1.0倍以上の早期実現に向けた施策を前倒しで進めるなど、資本コストを意識した取り組みにより株主の皆様のご期待にお応えしてまいります。

基本方針

- 財務の健全性を確保しつつ、バランスシートの改善を実施(WACC・ROEの改善)
- 営業CFおよび資産売却で得た資金を将来の成長に向けた戦略・成長分野に積極的に投資
- 短期および中長期的な成長に伴う利益拡大に対しては、さらなる株主還元(配当・自己株式取得)を実施

第15次中期経営計画 (2021年4月～2024年3月)

= 2023年3月31日現在予想額 (単位: 億円)

キャッシュイン

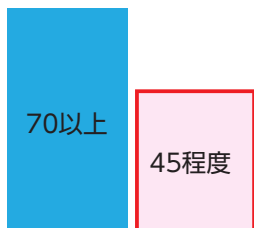
営業CF+資産売却&手元資金



定常投資

- ・工作機械向け焼入装置
- ・研磨機および矯正機増設
- ・生産設備の自動化
- ・IoT導入による労働生産性改善投資案件

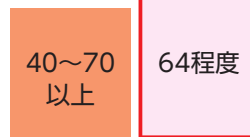
増産、省人化・合理化、工場耐震補強・設備修繕



キャッシュアウト

戦略投資

研究開発、新商品、DX、環境・省エネ・CO₂削減、M&A



- ・米国やインドネシアにおける投資案件
- ・ICT化投資
- ・加熱コイル3Dプリンター設備導入
- ・再生可能エネルギーへの転換投資

株主還元



2023年度の自己株式取得は5/11取締役会で自己株式15取得を決議

※資産売却には、政策保有株式売却を含む
 ※必要に応じ負債による調達も活用

配当: 2021年～2022年度: 連結配当性向40%以上、下限は自己資本配当率(DOE) 1.5%
 2023年度: 自己資本配当率(DOE) 3.0%以上

株主還元の拡充

配当政策の変更

2023年5月、配当政策を自己資本配当率(DOE)3.0%以上に変更いたしました。
この見直しにより、2024年3月期は、年48円程度の配当金額になる見込みです。

変更前

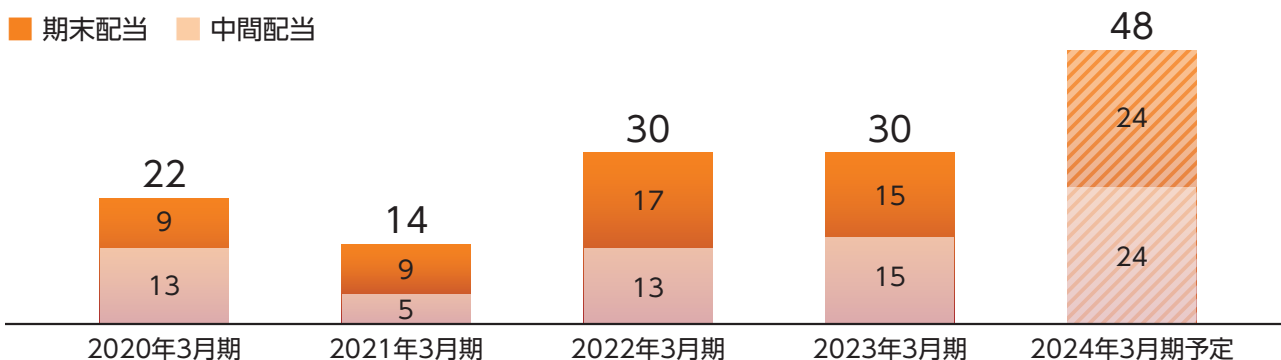
- ① 「安定した配当」
→ 自己資本配当率(DOE) 1.5% 下限
- ② 業績に応じた利益配分
→ 連結配当性向40%以上を目標

変更後

- 「安定した配当」
→ 自己資本配当率(DOE) 3.0%以上

配当金の推移 (単位:円)

■ 期末配当 ■ 中間配当



DOE1.5% 下限 + 連結配当性向40%以上

DOE3.0%以上

自己株式の取得

2023年5月11日開催の取締役会において、自己株式取得に係る事項を決議いたしました。
なお、2023年5月31日現在、302,500株(270百万円)の自己株式を取得いたしました。

取得にかかる事項の種類

①取得する株式の種類	当社普通株式
②取得し得る株式の総数	2,717,000株(上限) (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 7.21%)
③株式の取得価額の総額	15億円(上限)
④取得期間	2023年5月12日～2024年3月31日
⑤取得方法	投資一任方式による東京証券取引所における市場買付

ご参考(2023年5月31日現在の自己株式の保有状況)

①発行済株式総数 (自己株式を除く)	37,406,113株
②自己株式数	1,272,587株

ビジネスフィールドを創造し、さらなる飛躍を目指します。

ネットレン国内事業所一覧

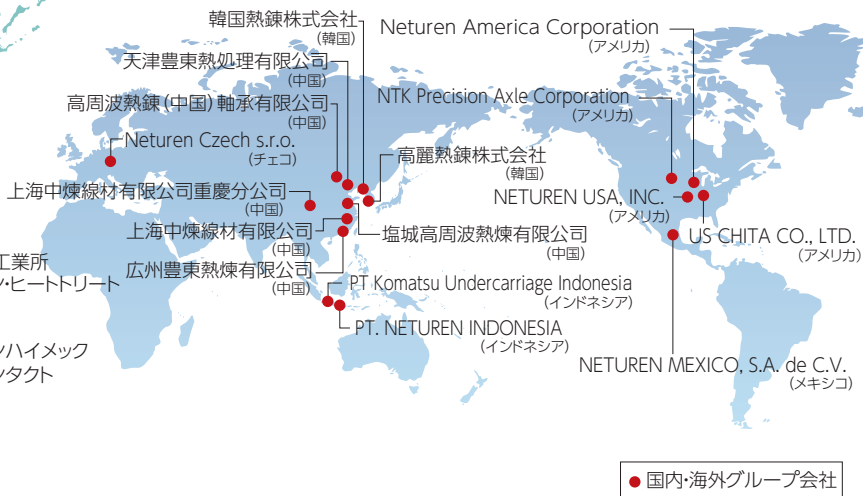
- ① いわき工場
- ② 茨城工場
- ③ 本社
- ④ 人材育成センター
- ⑤ 湘南事業所・平塚工場
- ⑥ 可児工場・可児NH工場
- ⑦ 名古屋工場
- ⑧ 刈谷工場
- ⑨ 製品事業部大阪営業所
- ⑩ 尼崎工場
- ⑪ 神戸工場 (株)ネットレン・名南
- ⑫ 赤穂工場 (株)ネットレン小松
- ⑬ 岡山工場

(株)ネットレン・ヒラカタ
九州高周波熱錬(株)
⑬⑫①⑩⑧⑦⑥⑤④
(株)旭電波工業所
(株)ネットレン・ヒートトリート
(株)ネットレンハイメック
(株)ネットレンタクト

ネットレングループ

国内：10社26拠点
海外：6カ国16社

※2023年3月31日現在



Group Information



- ①本店所在地 神奈川県平塚市
- ②事業内容 航空機整備用、一般産業用各種高圧流体試験装置等の設計・製造・販売
- ③資本金 80百万円
- ④代表者 一色信元
- ⑤従業員数 25名

株式会社ネットレンハイメック

株式会社ネットレンハイメックは、航空機、自動車、建設機械等の各産業分野および防衛省・自衛隊向けの各種油圧試験装置・高圧ガス関連各種装置の受注を的確にとらえていくことを目的に、1999年1月に設立いたしました。

同社は、油圧と高圧ガス関連装置における豊富な知識と経験を持つ企業として、高い評価を得ております。特に防衛省からは、戦闘機を含む航空機整備用機材の製造・修理を通じて自衛隊装備品の能力向上、任務遂行に大きく貢献したことを受け、過去複数回にわたり感謝状の贈呈を受けております。

今後、当社グループにおける事業戦略の重要な拠点として、さらなる発展を期待しております。

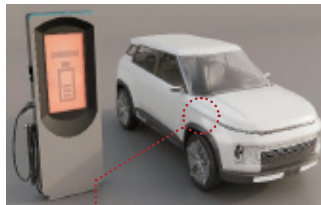
成長戦略

ITW®のグローバル展開

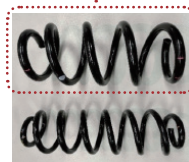
EV化が進む中、軽量化に貢献する高強度ばね鋼線ITW®の需要が大幅増。
2023年度以降もグローバルで着実な成長を目指す。

各地域の主な進捗

欧州	アフター市場は低調だが、新規顧客への納入は順調に拡大。2024年には国際ワイヤーショーに出展決定。
北米	生産ラインの第1次増設完了、量産開始。第2次増設で熱処理設備などを導入し、最終的に生産能力40%拡大を目指す。
中国	上海・重慶を拠点に中国全土をカバー。輸出も開始し、新規EVメーカーへ拡販開始。
日本	マザー工場の赤穂で生産能力1.5倍への取り組みを開始、各拠点に展開。



太径ITW®



太径ITW®によるEV用サスペンションばね
線径:17.2mm(上)
従来ITW®
13.1mm(下)



Neturen America Corporation (米国オハイオ州)



増設中設備

高強度せん断補強筋の採用拡大

想定される自然災害(首都直下型地震など)に備え、建物の耐震補強需要が増加。
当社の高強度せん断補強筋の品質が評価され、高度な安全性が求められる建築物などで採用。

評価ポイント

- ① 高強度化による耐震性向上
- ② 上記①に伴う資材使用量の低減と低コスト化

採用例

- ① タワーマンションなどの高層鉄筋コンクリート造建築物

直近の採用実績

・東京オリンピック選手村(HARUMI FLAG・Park Villageなど)

- ② 物流倉庫などの大型施設
- ③ 東京都内における主要駅前の再開発案件(複数)

高強度せん断補強筋



施工例
(建物の柱部分)



梁

柱

タワーマンションにおける
使用カ所イメージ図

ネットレン ZOOM UP !



Technology 1

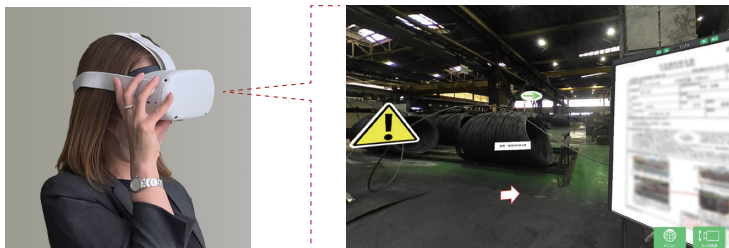
VR(バーチャルリアリティ)活用への取り組み

当社は、N-DX(ネットレンデジタルトランスフォーメーション)プロジェクトの一環で、社内教育におけるVR(バーチャルリアリティ)を2023年秋の導入に向けて準備中となります。

安全・危険予知などの社内教育は従来から実施しておりますが、これらは実際の製造現場に立って感覚的に理解できる部分も多く、座学の場合は伝えきれないなどの課題がありました。

新たに導入予定のVRでは、コンピューターが作り出した仮想現実の工場の中をVRゴーグルで見ることで、実際の工場内にいるような臨場感が得られるなど、座学でも感覚的に製造現場の状況を理解できるようになります。また、仮想現実の工場の中を移動すると、各所で注意事項などが自動的に表示されるなど、より効率的かつ安全な教育が可能となります。

将来的には教育以外での活用も構想しており、今後も積極的に新たな取り組みを進める所存であります。



VRを用いた仮想空間の様子



Technology 2

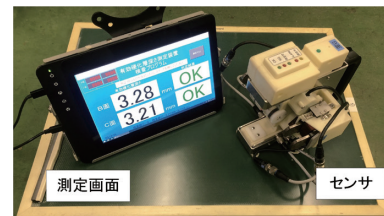
非破壊による有効硬化層深さ測定技術の開発

当社は、高周波熱処理された製品を切断せず短時間で検査可能な計測器を開発いたしました。

製品の品質管理項目の一つに有効硬化層深さ(製品表面から一定の硬さ位置までの距離)があります。この検査では製品を切断して測定するため、工数も多く発生していました。

この課題に対し、焼入れ前後で金属組織の磁気抵抗が変化するという大学との共同研究結果を利用し、新開発の計測器では、5秒程度で有効硬化層深さを確認可能となりました。これにより、非破壊での全数検査が可能となります。

当社はN-DXに基づき品質保証のIT化も進めており、刷新された業務プロセスやIH技術・自動化技術と、今回のような検査技術を融合させることで、一元化された設備DXを目指してまいります。



非破壊有効硬化層深さ計測器



Topics 1

CO₂排出量削減に寄与するV2B(Vehicle to Building)システムおよび太陽光発電システムの導入

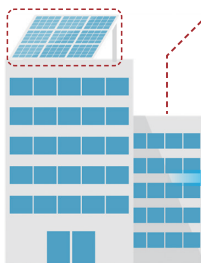
2023年2月、当社は、CO₂排出量削減の一環として国内2工場(尼崎・神戸)にV2B(Vehicle to Building)システムおよび太陽光発電システムを導入いたしました。

V2Bシステムは、EV(電気自動車)のバッテリーと建物の電力網を接続し相互給電を可能とする中継機器であり、災害時の電源確保に資するほか、太陽光発電システムを併せて活用することで外部電力の使用量削減と給電量の最適化を図っております。

今後も環境問題への取り組みに努め、より良い社会の発展に貢献してまいります。



太陽光発電システム



オフィス・事業所



災害などによる停電



V2Bシステム



災害時は非常用蓄電池としても活用可能

オフィス電力に使用

太陽光発電から給電

車両から給電

走行用電力に使用

EV(電気自動車)



Topics 2

個人投資家向けIRセミナーの開催

2023年3月、当社は、グラントウキョウノースタワー(東京都千代田区)において、個人投資家向けIRセミナーを開催いたしました。

同セミナーは、個人投資家に対する事業内容の理解促進と、投資対象としての魅力向上を目的として開催されたものであり、限られた時間ではありましたが、大宮社長が当社グループの事業概要、業績・株主還元、成長戦略、企業価値向上の取り組みなどについて、プレゼンテーションを行いました。

当日は、約200名の個人投資家が来場され、プレゼンテーション後は活発な質疑応答が行われました。

詳細資料は、下記WEBサイトまたは右のQRコードからご覧いただけます。
<https://www.daiwair.co.jp/detail.cgi?code=5976>



プレゼンテーションの様子

株式情報 (2023年3月31日現在)

株式の状況

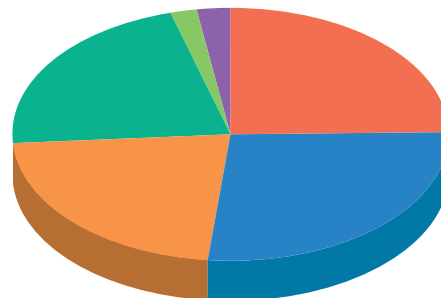
発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	38,678,700株 (自己株式970,011株を含む)
株主数	23,032名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,364	11.6
日本製鉄株式会社	3,101	8.2
株式会社三菱UFJ銀行	1,432	3.8
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	1,265	3.4
知多鋼業株式会社	1,029	2.7
伊藤忠丸紅住商テクノスチール株式会社	999	2.6
株式会社三井住友銀行	907	2.4
NTN株式会社	836	2.2
第一生命保険株式会社	826	2.2
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	783	2.1

(注) 1. 当社は、自己株式970千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
3. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)および株式会社日本カストディ銀行(信託口)の持株数は、信託業務に係るものであります。

所有者別株式分布状況



● 個人・その他	9,635千株	24.9%
● 金融機関	10,384千株	26.8%
● その他法人	8,568千株	22.2%
● 外国法人等	8,405千株	21.7%
● 証券会社	714千株	1.9%
● 自己名義株式	970千株	2.5%
合計	38,678千株	100.0%

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
受付時間 9:00~17:00 (土日休日を除く)

インターネット <https://www.smb.jp/personal/procedure/agency/homepageURL>

公告の方法 当社ホームページに掲載する。
<<https://www.k-neturen.co.jp/ir/kohkoku/kohkoku.html>>

上場金融商品取引所 東京証券取引所 (プライム市場)

株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

会社概要 (2023年3月31日現在)

商号 高周波熱錬株式会社 Neturen Co.,Ltd.
 所在地 〒141-8639
 東京都品川区東五反田二丁目17番1号
 オーバルコート大崎マークウエスト
 TEL 03-3443-5441 (代表)
 FAX 03-3449-3969

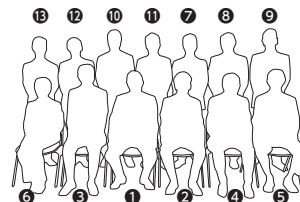
設立 1946年5月15日 (現社名)
 資本金 6,418,359,752円
 従業員数 連結1,596名 単独896名

当社役員 (2023年6月28日現在)



① 代表取締役社長執行役員 大宮 克己
 ② 取締役専務執行役員 一色 信元
 ③ 取締役常務執行役員 鈴木 孝
 ④ 取締役執行役員 安川 知克
 ⑤ 取締役(社外) 花井 嶺郎
 ⑥ 取締役(社外) 森山 義子
 ⑦ 常勤監査役 池上 由洋

⑧ 監査役(社外) 中野 竹司
 ⑨ 監査役(社外) 圓實 稔
 ⑩ 執行役員 村井 暢宏
 ⑪ 執行役員 三阪 佳孝
 ⑫ 執行役員 久田 直志
 ⑬ 執行役員 田中 典男



株主優待制度のご案内

対象株主

毎年3月31日現在の株主名簿に記録された、当社株式100株(1単元)以上を、継続1年以上保有^{※1}する株主様。

協賛募金制度

- 1 寄付先
公益社団法人国土緑化
推進機構「緑の募金」



緑の募金

- 2 寄付額
対象株主様1名につき、当社より100円を寄付^{※2}。(2022年度実績:88万7千円)

優待内容

QUOカード(1,000円分)



※1 基準日である3月31日および9月30日現在の当社株主名簿に、同一株主番号で、3回以上連続して記載されている株主様が対象となります。なお、株主様の名義が変更となった場合(相続、贈与、証券会社の貸株サービスを利用した場合など)で株主番号が変更になる可能性があります。その場合は同一株主の継続保有とみなされず、株主優待の優待対象外となります。

※2 当社より「緑の募金」へ寄付するものであり、株主様に贈呈するQUOカードの額面から差し引くものではありません。



リニューアル後ホームページ

ホームページのリニューアル

2023年3月、当社ホームページを全面的にリニューアルいたしました。
今回のリニューアルでは、デザインとページ構成を見直し、パソコンだけでなくスマートフォンやタブレットでの表示にも対応したことで、より使いやすいホームページを目指しております。
今後とも内容の充実を図り、これまで以上に有益な情報をタイムリーに発信するよう努めてまいります。

詳細は、下記WEBサイトまたは右のQRコードからご覧いただけます。

<https://www.k-neturen.co.jp>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



本レポートに関するお問い合わせ先
高周波熱錬株式会社 経営企画室
〒141-8639
東京都品川区東五反田二丁目17番1号
オーバルコート大崎マークウエスト
TEL 03-3443-5441(代表) /
FAX 03-3449-3969